

事例31

< 事例概要 >

投与実施時に輸液ポンプの不使用があり過量投与に至った

オリベス点滴用 1 % (リドカイン注射液) : 抗不整脈薬

- ・ 70 歳代、非持続性心室頻拍
- ・ オリベス 1 % 200 mL を 4 mL / h で静脈内注射と口頭指示。看護師は輸液ポンプ使用対象の薬剤とは知らず、可能な限り緩徐に自然滴下で点滴を投与した。
- ・ 投与開始 15 分後から、間欠的にけいれんが出現。約 1 時間後に呼吸が減弱し、心肺停止。リドカインの血中濃度が高値であることが判明。低体温療法を施行したが、投与約 3 週間後に死亡。
- ・ 死因は、リドカイン中毒（疑い）。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。